

## 会 議 の 概 要

会 議 名 (審議会名)	第1回特別職報酬等審議会
開 催 日 時	2017年9月6日(水) 15:30~17:30
開 催 場 所	宝塚市役所3階 特別会議室
委 員	(出席) 林会長、岩本委員、門田委員、松村委員、中村委員、 戸川委員、山崎委員
傍 聴 者 数	1人
公 開 の 可 否	公開

### 議事録

No	内容	詳細
1	副市長挨拶	
2	委員委嘱	
3	委員紹介	
4	審議会規則説明	過半数以上の出席により審議会の成立を説明
5	事務局職員紹介	
6	会長選出	事務局より林委員を会長へ推薦、合意
7	諮問 ー市長退室ー	
8	諮問書の説明	
9	会長挨拶及び職務代理者の指名	会長職務代理者として、岩本委員を指名、合意
10	情報公開及び傍聴要領の制定	審議記録の公開については、市ホームページにおいて審議概要及び委員氏名を掲載することとする。 審議会は原則公開とする。傍聴定員を原則10名とする。10名を超えるような傍聴希望があれば、その時に改めて協議する。 本日の傍聴希望者は1名。傍聴人入室
11	資料説明	事務局より宝塚市特別職報酬等改定状況、近隣市町、類似団体との比較状況等を説明
12	審議・質疑応答	
	委員	市の財政のうち、将来負担比率について、例えば宝塚市の上下水道の管の老朽化等に伴う全面的な工事を行う際などに、相当な費用が生じると考えられるが、そういうものの具体的な数字は入れ込んでいるのか
	事務局	決算に基づくものになるので、そういった事業費が企業会計の方で計上されているのであれば反映している。将来的な計画として、事業を行う予定であるが、具体的な計画が決まっていなければ反映していない。
	委員	事業を行わなければ数字上は良い状態になるということでしょうか。

事務局	例えば債務保証などで将来的に約束されたものがあれば反映されるが、そのようなものがなければご意見のとおり。
委員	ここに記載している負債は現状把握しているものとして見れば良いと思う。 震災の関係の負債は全部なくなっているのか。
事務局	いわゆる震災復旧に関してはすべて終わっているが、復興に関する部分が若干残っている。
委員	政務活動費が月8万円という件について、これは先払いか。
事務局	3カ月に1度先払いしている。
委員	精算が無くても次の3カ月分を支払うのか。
事務局	そのとおりである。精算は年度末にまとめて行っており、剰余金の返還を行ってもらっている。
委員	特別職等の年収について、記載している金額に出張費等は含まれているのか。
事務局	出張等に係る実費弁償については旅費という形で別途支給。他に日当も一般職と同様に支給されている。
委員	それは旅費交通費であって給料ではないということか。
事務局	給料ではない。
委員	日当というものはいくらぐらいか。
事務局	特別職は3,200円となっている。趣旨は昼食代が半分程度、残りは現地での雑費という形で、国の基準を準用して支給している。
委員	特別職の自主カットについては、議会に諮って決定しているか。
事務局	そのとおり。
委員	議員の視察について、日当は委員会視察と個人で行う視察と両方支給されるのか。それとも議員個人の視察については日当はつかないのか。
事務局	委員会視察については職員に準じたかたちで日当を支給している。個人で出張する場合には政務活動費で行うものなので日当は支給していない。
委員	前回の審議会は平成26年度ということであるが、大体3年程度で見直す運用という理解でよいか。
事務局	そのとおり。
委員	もう一つ、現在の給与カットについて、平成31年3月31日までとなっているが、その後の継続等については決まっていないのか。
事務局	一般職については、財政状況等を踏まえ、市労働組合との協議の上で決定する。特別職も一般職に先じたかたちでカットを行ってきているという経過があるので、そういったものを踏まえながら今後検討していくことになる。
委員	特別職ではない一般職員も時限的にカットしているのか。
事務局	カット率に幅はあるが、一般職員も特別職と同様に平成31年3月31日まで給与カットを行っている。
委員	時期は特別職と同様か。
事務局	同様である。
委員	前回の答申を見ていると、財政状況の説明の中で、当初は財政状況がよくないというこ

	<p>とでスタートして検討に入ったが、答申では、財政状況を見てみると必ずしも悪いとは言えないという状況であったとなっている。しかし、市民感情としては財政状況は悪いように感じる。数値上では悪いとは言い難いが、例えば、できるだけ事業を抑えて、何もしないようであれば、財政の数値はよくなる。そのような意味でこの捉え方は間違っていると思う。今後の検討にあたっては財政状況は考えなければならないと考えている。</p>
委員	<p>先ほども言われたが、これから様々なところでインフラが駄目になってきて、これから何年かかけて行わないとならない状況で、ある種だましまししているという状況もあるので、数字だけを見てよくなったとは考えられないと思う。</p>
事務局	<p>理解できる理論である。何もしなければ支出がないので指標は良くなるが、行政が行うことなので一定の必要なものは出てくるので、そのあたりのバランスが重要ではないか。先ほど説明した指標の中で、必ずしも悪い数字は出ていないが、経常収支比率が悪いと説明しており、そこを改善できていないのが実情。いかに支出を抑えて、おなかつ市民サービスの質を落とさないようにするために、全庁的に全事務事業の見直しを行い改善を進めている。今後の財政状況については6月に財政見通しを公表しており、今後5年間の財源不足が非常に大きくなることを見込んでいる。決して楽観できる状況ではない。</p>
委員	<p>市長の地域手当について、例えば三田市の場合は地域手当はなしとなっている。これはどのような基準で支給されているのか。</p>
事務局	<p>国家公務員の制度に準じた制度になっている。国家公務員は勤務地が日本全国になるので、どこで勤務するかによって地域手当が決まっている。現在国の基準では宝塚市は15%になっているが、財源不足の関係もあり14%に抑制している。</p>
委員	<p>支給するのは物価が高いところに支給するのが基本になるのか。</p>
事務局	<p>本市は地域手当を支給しているが、前回までの審議会の考え方としては、年収を比較し、その中で給料、地域手当、期末手当に割り振っている。地域手当を支給していない団体に関しては、その割り振りを給料と期末手当のみとしている。前回の答申では、年収を比較してその差をどのように割り振るかということが一つと、前回の審議会の時点では、健康保険や年金等の計算ベースが給料部分のみであったため、給料部分を増やすと市の負担が増えるため、年収が同等でも事業主負担を減らすための手法として給料と地域手当を分けていたという部分がある。</p>
委員	<p>近畿圏の議員の給料が他と比べて高いのはなぜなのか。議会に出る日数も資料を見る限り多くなく、どのような経緯で報酬が決定されてきたのかを知りたい。</p>
委員	<p>議員は特別職で非常勤であるが、地域では24時間市民に対応しなければならない。そのような見えない部分を鑑みると、非常勤ではあるが、地域においては24時間対応している議員もいるのは確かなので妥当と考える。</p>
委員	<p>それは理解できたが、なぜ近畿圏は他と比べると報酬が高いのか。同程度の規模の市でも金額に差が出ている。</p>
委員	<p>高度経済成長期に、近畿圏特に大阪では宅地開発が盛んになり、市税が多く入ってきたときがあり、その時に議員報酬や公務員給料がどんどん上がっていった。それが今では</p>

	市民感覚と合わないということで減額がされている。
委員	議員報酬は地域的に差がある。過去の経緯を踏まえながら、自治体の事情に応じて改定しているのが実情。この程度の給料があるからこの程度の活動ができるということで議会が動いているというのが実情。本当に千差万別で、この程度の自治体だからこの程度の報酬額というものは決まっていない。
委員	大阪と兵庫では最低賃金に差があるのに議員報酬が同じぐらいという点に疑問を持っている。
委員	横並びの意識があるのが大きいように思う。議員活動も千差万別なので、一概にどの程度が適当かと決めることは難しい。政務活動費も自治体によって全く違うものになる。
事務局	議員が専業なのか兼業なのかも地域によって大きく異なる。宝塚市の場合はほとんどが専業となっている。
委員	先ほどの地域手当の話になるが、地方公共団体が地域手当を取り入れるかは自主的な選択になっている。ただし、地方自治体によっては必ず実態に沿っているものではなく、昔決定した割合をそのまま使っているところもある。今では地域手当を廃止して本給に組み込んでいるところも多い。
委員	現在は横並びを基本としているが、特別職の報酬等について宝塚方式を導入してそれをアピールするのも良いのではないか。
委員	地域手当の話が出たが、ラスパイレス指数には地域手当は入っているのか。
事務局	地域手当込みのデータも公表されているが、通常使用されているデータには反映されていない。
委員	そうすると宝塚市はラスパイレスが低く出るはずであるが。
事務局	地域手当を加味したラスパイレス指数は98.1となり、資料に記載されている数値より低くなる。
委員	平成28年度の決算の資料が出そろうのはいつになるか。
事務局	宝塚市の決算の資料をまとめた概要はすぐに用意できる。
委員	次回までに用意してほしい。
事務局	了承。他の自治体分になると、決算の発表時期が異なるのでもう少し時間がかかる。
委員	資料が読み解きにくい。ポイントになりそうな部分を、できれば円グラフや棒グラフで作ってほしい。
委員	議員は年金が出ないが、市長等はどうなのか。退職金についても聞きたい。
事務局	市長、副市長及び教育長は年金の加入期間に加算される。退職手当についても一般職と支給率は異なるが支給される。退職手当の支給は任期毎となる。
委員	議員に退職手当はあるのか。
事務局	議員には退職手当も年金もない。
委員	議員報酬は普通の市であれば、部長級の真ん中程度というガイドラインがあるので、一般職の資料についてもわかりやすくまとめてほしい。
委員	財政状況で、基金は増えているか。
事務局	基金は減っている。
委員	それは取り崩しているのか。

事務局	取り崩している。
委員	どの部分から取り崩しているか。
事務局	特定の目的に充てる基金は継続して取り崩してきている。財政調整基金は直近3年ほど少しずつ取り崩している状態。
委員	議員等の年齢を知りたいので資料を作成してほしい。
事務局	市長等含め次回に向けて資料を作成する。
委員	地方消費税交付金について、平成27年は上がっているが、平成28年に下がっているのはなぜか。
事務局	県に確認したところ、原油価格の下落が影響しているとのこと。輸入に係る消費税があるようで、それが原油を含めて影響を受けているという説明であった。原油が安くなることによって、元の値段が安くなるので、そこに消費税をかけても税として入る額は減っている。
委員	審議会で決定したことは、特別職の給料に反映するのか、単なる意見になるのか。
事務局	基本的には答申を尊重し、改定を行う予定としている。
委員	日本経済新聞に公務員は65歳定年になると載っていたが、宝塚市もなるのか。
事務局	国家公務員で改正されれば準じるかたちになると想定している。
委員	地方公務員法で決まっているので宝塚市独自で行うものではない。
委員	次回に向けて事務局対しの資料等の要望はあるか。
委員	財政状況を踏まえて検討することになると思うが、前回の答申で、財政状況によらずに特別職の報酬等の改正を行っている事例等を参考に様々なことについて検討すべきであるとなっている。この具体的な内容や申し送りがあればいただきたい。
事務局	事務局としても必要であれば原案は用意する。
委員	前回の答申は結局は財政指標が似通った団体の平均をとってはどうかとなっている。
委員	財政状況が悪いところだけ取り出せばよいのではないか。
委員	財政が悪いかと言って給料を下げるのは良い発想ではないと思う。仕事は財政が悪いところの方がたくさんある。必ずいい人材が取れなくなる。市長は組織のトップなので、市長の給料を減額すると、一般職の給料を下げるということになりかねない。そのあたりのバランスを見ると横並びに落ち着くというのが一種の結論になるかとは思いますが、そこをどうあるべきか考えるべき。財政が悪いから低くていいというのは難しい。
委員	私としては財政さえよくしてもらえれば、特別職の人が先頭に立って営業活動をして、税収を多くするように運動してほしい。
委員	財政がよくなるというのも、先ほどの話でも出たが、事業をしなければ指標はよくなる。税収が増えて数値がよくなるのと、事業を抑えて数値がよくなるのは内容は違うが見かけは同じ。財政が悪いから低い給料で我慢しろというのは違うように感じる。
委員	今の地方財政というのは義務的経費は切り下げられず、税金は地方税法で決められているので変えられない。地方債を出しても金利や返済金で財政を圧迫する。このあたりのバランスをどう見ればよいかは極めて難しい仕事。
委員	収支だけを見れば地方は良いと財務省の人はよく言うが、地方の収入には国からのお金も入った話なので、トータルで見れば赤字。地方は潤っているように見えるが、実際は

		<p>先ほども出たががんじがらめになっている。</p> <p>委員 例えば税金を増やすといっても、補助金を付けて企業に来て下さいと言っても来てくれない。</p> <p>委員 成果が見辛い。税金が増えたということで見ると、若い人や子どもが増えたということで見ると様々な考え方がある。</p> <p>委員 議会事務局へ資料請求をしたい。給料カット時の議会へ上程された条例案の趣旨説明の資料が欲しい。</p> <p>事務局 了承。</p> <p>委員 宝塚市の予算（財政状況）は悪くないと言っていたが、これは特別職や職員が給料カットをしているから保たれている水準なのか。</p> <p>委員 カットの影響は恐らく微々たるもの。</p> <p>事務局 金額にすると、宝塚市の財政規模は770億円程度。そのうち特別職がカットしてもほんのわずかな割合。ただし、そこをカットしていかないと他の改革が進まない部分がある。</p> <p>委員 一律カットは初めてか。</p> <p>事務局 特別職は今の市長になってからはほとんどカットが続いている状況。</p> <p>委員 一世帯当たりの税金は阪神間ではどの程度になるか。</p> <p>事務局 次回までに用意する。</p>
13	今後のスケジュール説明	<p>第2回を10月13日（金）の10：00からの予定とする。</p> <p>第3回を11月 2日（火）の10：00からの予定とする。</p> <p>今回欠席の委員には事務局から確認を行う。</p>
14	閉会	